

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|----------------------|----|----------------|
| ○事業所名 | 放課後等デイサービスまいはーとここあ高取 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和6年 10月 1日 | | ～ 令和6年 10月 31日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 30 | (回答者数) 20 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和6年 10月 1日 | | ～ 令和6年 10月 31日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 9 | (回答者数) 9 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和6年 12月 20日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|--|
| 1 | 個々の特性や支援に合わせた課題、自立に向けた課題等、数多く準備し対応している。 | 1人ずつに課題BOXがあり、おやつ後に課題に取り組む習慣を作っている。専門職員による個別支援も行い支援の充実に努めている。 | 支援前の職員間の話し合いの時間をしっかり設け、皆が共有でき、支援に当たれるよう、さらに努力をしていきたい。専門職員の課題の提供を増やしていきたい。 |
| 2 | 視覚支援を充実させている。 | 室内を整理し、視覚的に邪魔になるものは置いてない。スケジュールボード、課題BOX等写真を使い子どもたちに分かりやすいようにしている。「良くない行動」「声の大きさ」など視覚支援で分かりやすくしている。時計の読めない子どもには砂時計を使い時間の経過が分かるようにしている。 | 絵カードやマッチングカードなどの種類を増やしていきたい。言語化が難しい子どもに対する視覚支援の幅を広げたい。 |
| 3 | 集団療育、イベント等コミュニケーションの場を多く設けている。 | 皆が参加できるような集団活動を提案し実行している。季節を感じる食育や活動、運動会、クリスマス会、節分等子どもが楽しめるイベントを行っている。職員同士のコミュニケーションをしっかりと取る事で色々な意見や活動の提案ができています。 | どんどん新しい活動を増やしていきたい。子どもたちが発表できる場面や、地域のイベントなども積極的に参加していきたい。保護者の方に子どもの様子が伝えられるようなツールをもっと増やしていきたい。 |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|-----------------------------|--|
| 1 | 部屋が狭く感じる時がある。 | 机や、イスが大人仕様になっている物もある。 | その日の子どもの人数や様子で、机やイスの位置を変えている。低学年の子どもが座りやすいように背もたれやクッションを使って対応している。 |
| 2 | 避難訓練をしているが、保護者の方にあまり周知されていない。 | 通信で取り上げているが、避難訓練の写真や記事が少ない。 | 通信とは別に、避難訓練の様子をお便りとして出し、保護者の方に周知してもらいたい。 |
| 3 | | | |